

◆社会科 目指す子どもの姿の系統表◆

北海道教育大学附属釧路小学校・中学校

7年間で目指す自律性が育まれた姿

目標

領域における自律性が育まれた姿

地理的分野における自律性が育まれた姿

歴史的分野における自律性が育まれた姿

公民的分野における自律性が育まれた姿

	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
	社会的現象を比較したり共通性を見出すことで、より一般性のある捉え方や意味や意義を理解する姿						
	社会的現象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察することができる姿						
	社会に見られる課題の解決に向けた広い視野からの選択・判断や構想をすることができる姿						
	(小)第3学年及び第4学年	(小)第5学年	(小)第6学年	(中)第1学年	(中)第2学年	(中)第3学年	
	①地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚を持つようにする。 ②地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようになる。 ③地域における社会的現象を観察、調査するとともに、地図や各種の具体的な資料を効果的に活用し、地域社会の社会的現象の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようになる。	①我が国の国土の様子、国土の環境と国民生活との関連について理解できるようにし、環境の保全や自然災害の防止の重要性について関心を深め、国土に対する愛情を育てるようになる。 ②我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の発展や社会の情報化の進展に関心を深め、自覚を育てるようになる。 ③社会的現象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的現象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようになる。	①国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心を育てる。 ②日常における政治の動きと我が国の政治の考え方や我が国との関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。 ③社会的現象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的現象の意味をより広い視野から考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようになる。	【地理的分野】①日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地理的特色を考察し理解させ、地理的な見方・考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。 ②日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかかわりから捉え、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域の特色や地域の課題を捉えさせる。 ③大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。 ④地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、さまざまな資料を適切に選択・活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。	①個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。 ②民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動のかかわりを中心に理解を深め、現代社会についての見方・考え方の基礎を養うとともに社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。 ③国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力しあうことが重要である事を認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を築くことが大切であることを自覚させる。 ④現代の社会的現象に関心を高め、さまざまな資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。		
	地域地理的事象について、興味・関心を持ち、社会的現象の見方・考え方を働かせて観察、調査を行うことで地域的・社会的な課題の解決に向けて選択・判断しようとしている。	日本の地理的事象について、関心を持ち、見方・考え方を働かせて、地理的事象の意味を多角的に考察、理解し、社会的な課題の解決に向けて選択・判断しようとしている。	先人の業績や文化遺産等の日本の歴史について興味・関心を持ち、見方・考え方を働かせて調査を行うことで、歴史的事象の相互の関連や意味を多角的に考察し、よりよい社会のあり方を選択・判断しようとしている。	日常生活における政治の動きと国際社会における日本の役割について関心を持ち、見方・考え方を働かせて多角的に考察、理解し、社会的な課題について、よりよい社会への関わり方を選択・判断しようとしている。	日本や世界の地理的事象について関心を持ち、地理的な見方・考え方を活用して、地域の特色を考察・理解し、地域の地理的な諸課題の解決に向け意欲的に追究しようとしている。	歴史的事象が成立する背景を含めた意味に興味・関心を持ち、現代や前後の時代におけるつながりをもとに、その歴史的事象が選択・判断された意味について、時代背景などをとらえて多面的・多角的に考察しようとしている。	現代社会についての見方や考え方をもち、現代の社会的現象に興味・関心を持ち、その意味や価値判断が分かれる社会的な課題に対して、多面的・多角的に考察し、よりよい選択・判断をしようとしている。

小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	
小学3年「わたしたちのまちはどんなまち」 A 身近な地域について興味・関心を持ち、位置や空間的な広がりに着目して観察、調査を行い、白地図に表されたものを比較することで、地域や市の様子は場所によって違いがあることやそれぞれの場所の特色について考え、理解している。 B 学習問題を解決するための「問い」をもとに学習計画を立て、解決する場を設定する。概念を形成するための「思考スキル・ツール」を用いた交流の場の設定。社会的現象への見方・考え方を成長させるための別の事象と出合う場の設定。				中学2年「世界から見た日本のすがた」 A 世界と比べて日本の地理的特色に対する関心が高まり、世界的視野や日本全体の視野から見た日本の国土の特色について理解している。首都機能の移転に対して、多面的・多角的に考察し、選択・判断した理由を適切に表現している。 B 単元の導入時に、単元を貫く課題を設定し、課題追究の道筋を示すことで学習の見通しを持たせる。単元を貫く課題の追究にあたって、社会認識を深められるような複数の課題を設定する。思考ツールを活用し、情報・思考を可視化することで、課題を追究させる。			

小学5年「食料生産を支える人々～これからの食料生産～」 A 様々な食料生産が国民の食生活を支えていること、食料の中には外国から輸入しているものがあることに興味・関心を持ち、自分の日常生活と結びつけて考えようとする。わが国の主な食料生産と土地利用の特色について理解するとともに、そこに関わっている人の工夫や努力を考えている。これからの食料生産について、多角的に考察し、選択・判断しようとする。 B 学習問題を解決するための「問い」を計画的に設定し、見通しを持って解決する場の工夫。概念を形成するための「思考スキル・ツール」を用いた交流の場の設定。社会現象への見方・考え方を成長させるための別の事象と出合う場の設定。	中学3年「私たちの平和主義」 A 日本国憲法における平和主義のあり方について、日本が徹底した平和主義をとっている意義を、その歴史的背景などを通して深く理解しようとする。日本の平和主義とこれからの日本の安全保障のあり方について、多面的・多角的に考察し、選択・判断しようとする。 B 単元の導入時に、単元を貫く課題を設定し、課題追究の道筋を示すことで学習の見通しを持たせる。単元を貫く課題の追究にあたって、社会認識を深められるような複数の課題を設定する。歴史的事象を多面的・多角的な視点から考察できるよう、クリティカルシンキングの観点からの課題追究。
--	---

小学6年「大陸に学んだ国づくり」 A 当時の日本の国づくりに関わる歴史的事象を、様々な立場から空間的、時間的、関係的な見方で捉え、比較、関連付け、総合して考えることで理解を深め、大陸の文化との関係について、自分なりの考えを広い視野から表現することができる。 B【見方・考え方を高める「対話的な学び」】 新たな視点を引き出す「大仏の造営費用」や「時間」、「労働力」等についての資料の提示。資料との対話を促し、様々な立場から大仏造営の意味を考え、当時の人々の様子をより広い視野から捉え、根拠を明確にした上で自分の考えを再構成し、「他者との対話」へとつなげさせる教師の働きかけ。	中学3年「わたしたちの平和主義」 A「平和主義」に対し、空間的、時間的、関係的な見方で捉え、比較、関連付け、総合して考えることで、求める平和の在り方について選択・判断し、他者への説明などを通して表現することができる。 B【見方・考え方を高める「対話的な学び」】 生徒が平和について考える際、視点を明確化するために、ガルトゥングの平和概念をもとにした平和の構造図の資料提示。「資料との対話」から意味の理解を促し、「他者との対話」を通して、平和について比較をさせることで、見方・考え方を拡充・強化させる教師の働きかけ。
---	--

小学6年「新しい時代の幕あけ」 A 幕末から明治の初めにかけての社会の変化を、日本が近代化を進めた背景を踏まえて空間的、時間的、関係的な視点から多角的に捉え、自己の考えを構成する根拠を明確にし、表現したり議論したりすることができる。 B【見方・考え方を高める「対話的な学び」】 社会的現象の本質を明確にする「殖産興業に関わる工場働く人々の様子」「徴兵令の実態」「地租改正に対する一揆」等についての資料の提示。資料との対話を促し、様々な立場への政策の影響を踏まえて、明治政府が目指した国の在り方についての考えを再構成させ、「他者への対話」へとつなげ、社会認識の深まりを促す教師の働きかけ。	中学2年「明治維新と立憲国家への歩み」 A 幕末から明治の初めにかけての社会の変化を、世界との関わりの中で日本が近代化を進めた背景を踏まえて空間的、時間的、関係的な視点から多面的・多角的に捉え、自己の考えを構成する根拠を明確にし、表現したり議論したりすることができる。 B【見方・考え方を高める「対話的な学び」】 社会的現象の本質を明確にする「ドイツについての認識」「世界情勢」等についての資料の提示。資料との対話を促し、日本とドイツの置かれた状況を踏まえて、明治政府が目指した国の在り方についての考えを再構成させ、「他者への対話」へとつなげ、社会認識の深まりを促す教師の働きかけ。
--	--

単元における目指す子どもの姿(A)とその姿を引き出すための手立ての視点(B)